

行 政 報 告

平成19年福島町議会第4回定例会にご参集をいただき誠にありがとうございます。

それでは、9月19日開催の平成19年第3回定例議会以後の行政報告を申し上げます。

なお、この間の諸行事等の報告については、別紙に印刷のうえ、皆様のお手元に配布しておりますのでご了承ください。

はじめに

★ 福島町表彰式について

去る11月3日の文化の日に、80余名の町民の方々にご出席をいただき福島町表彰式を開催いたしました。

本年の受章者は、功労章2名、顕功章2名であり、これまでのご功績等を讃えて表彰をしたところであります。

また、前福島消防団副団長である吉田市雄氏が春の叙勲で瑞宝単光章を、また、前福島町長である・内裕氏が秋の叙勲で旭日小綬章を、それぞれ受章されましたことをご報告申し上げますとともに、来る1月3日開催の新年交礼会の際に、町表彰受章者と共に受章祝賀会を予定しております。

★ 町づくり基本条例の検討について

本年6月に「町づくり基本条例町民検討委員会設置要綱」を制定し、10月1日付けで公募を含む町民20名の方に検討委員を委嘱しております。

検討委員会では、来年9月を目処に「町づくり基本条例」に対する提言をまとめるため、これまで3回の検討委員会を開催し、条例前文の検討などを進めておりますが、検討委員会より、助言していただけるアドバイザー招聘についての要請がありましたので、関係予算を本議会へ提案しております。

★ 自立プランの検証について

自主、自立の町づくりを進める「自立プラン」を検証するための「自立プラン推進委員会」を10月15日に開催し、事務事業や検討課題への取組みを検証していただいております。

昨年の検証では、平成21年度までの前期計画期間中の累積赤字額を1億9,288万6千円に変更しておりましたが、今回の財政推計では「自立プラン」による特別対策などの効果により、見込まれた累積赤字は解消するものと推計しております。

また、ふるさと応援基金事業については、随時、PRと事業募集を行い、応募のあった事業については「自立プラン推進委員会」において、基金を有効かつ大事に使うことを念頭に厳格に審査していくこととなりました。

★ 町民説明会の開催について

10月22日から11月にかけて、約1ヶ月間にわたり町内13会場で開催された町民説明会において、町から「町づくり基本条例」の検討が進められていることや、来年度から始まる「後期高齢者医療制度」など9項目にわたって情報を提供し、地域の協力をお願いいたしました。

各会場では、地域要望も含めて意見交換が行なわれましたが、参加された191名の町民からは61件の意見や質問などが寄せられました。

その中でも、特に吉岡方面では、総合開発計画の地上デジタル放送や学校等の統廃合への質問が多い傾向が見られたほか、全体としては、これから始まる後期高齢者医療制度や除雪への質問や要望等が多くあったところであります。

★ LGWANサービス提供装置の更新について

地方公共団体を専用回線で接続し、高度なセキュリティが確保された環境で電子メール、電子文書交換業務等のサービスを提供する総合行政ネットワーク（L GWAN）に当町も平成15年度から参加し、同年10月1日から運用を開始しております。

現在は、国の各省庁ネットワークとも接続し、国や都道府県、各市町村間で交わされる電子メールの全ては、当該ネットワークを利用したものとなっております。

こうした中で、北海道から本年10月30日付けで、現機器は、設置後5年が経過し平成20年度中には耐用年数を超過するため、総合行政ネットワーク全国センターでは、L GWANサービスのサポート期限を平成21年3月までと設定している旨の通知を受けました。

その後、11月28日には、当該システムのサポート先からも同様の通知がありました。

このことから、平成21年3月末までに全国的に統一した機器更新への対応が必要となりますので、次年度の総合開発審議会に諮り、議会とも協議のうえ対応をして参ります。

★ 特別交付税について

特別交付税の12月交付額が決定になりましたので、お知らせいたします。

決定額は、3,115万7千円で、昨年度と比較して2,721万6千円、790.6%の増額となりました。

大幅に増額となった要因につきましては、本年度から創設された地方応援プログラム分経費3,000万円が加算されたことによるものでございますが、本年度の地方財政計画における地方交付税の総額は、前年度に比較して4.4%の減となっていることから、来年3月に交付される交付額への影響が懸念されるところでございますが、3月に交付額が決定され次第、議会にお知らせしたいと思っております。

★ 町税の収納対策について

本年度は、所得税から町民税への税源移譲措置により、町民税の収納率低下が懸念されたことから、早い段階で徴収体制の整備や手法等を検討し、これまで以上に夜間の電話催告や臨戸徴収等を強化し、収納率の向上に努めております。

しかし、11月末現在の状況を見ますと、固定資産税や軽自動車税、国民健康保険税の収納率につきま

しては、前年同期を僅かに上回っておりますが、町民税につきましては、長引く不況と課税額が増加したことなどにより、来年5月までの分納を希望する納税者が昨年に比べ3倍以上も増え、収納率が3%弱下回っている状況にあります。

このことから、今後もより一層の収納率向上対策に努めるとともに、特に、年末にかけて関係グループ職員を中心とした特別収納対策班を編成し、集中的に臨戸徴収等を実施することとしております。

★ 地方債の繰上償還について

地方債の政府融資資金に係る繰上償還については、これまで補償金が必要とされておりましたが、今般、臨時財政措置として平成19年度から平成21年度の3年間に限っては、一定の条件を満たした場合、繰上償還に伴う補償金が免除されることとなりました。

これに伴い、利率6%以上の政府融資資金が補償金を免除される対象となることから、当町としても、道及び財務事務所と繰上償還に係る協議を進めておりましたが、本年12月中に承認される見込みとなりましたので、償還額が確定され次第、本年度分に係る予算措置を次期議会に提案してまいりたいと考えております。

なお、3年間における償還額は、一般会計で11件、70,857千円（19年度4件、48,608千円、20年度6件、9,178千円、21年度1件、13,071千円）を予定しており、財源としては、減債基金の取り崩しにより対応したいと考えております。

また、水道事業会計においても、5%以上の政府融資資金が繰上償還の対象となることから、11件、44,700千円（19年度8件、19,400千円、20年度2件、9,600千円、21年度1件、18,700千円）の繰上償還を予定しております。

今後とも地方債の運用にあたっては、実質公債費比率の抑制に努め、自立プランにおける財政状況も勘案しながら執行してまいります。

★ 後期高齢者医療制度に係る地域説明会の実施について

平成20年4月からスタートする後期高齢者医療制度について、12月3日から10日にかけて、町内15会場で町民説明会を実施したところでありますが、今後も引き続き制度等の普及・周知に努めてまいります。

★ 敬老会について

9月30日に福島小学校体育館において開催された敬老会は、敬老対象者の方518名、議長をはじめとする来賓の方や町内会協力者の方々など総勢691名の方が参加し、盛大に開催することが出来ました。

今年も高齢者学級の皆さんの踊りや江差追分全国大会において優勝している寺島三姉妹一行5名の出演等により、会場の皆さんには大いに楽しんでいただいたところであります。

★ 高齢者ふれあいスポーツ大会の開催について

高齢者ふれあいスポーツ大会は、10月16日に来賓やボランティアも含めて337名の方々に参加をいただき、開催されました。

今年も、福島保育所や吉岡幼稚園及び福島幼稚園の幼児との合同競技や子ども達による遊戯が披露されるなど、会場一体となって楽しいひとときを過ごしていただきました。

★ 福祉灯油助成事業について

昨年、70歳以上の単身世帯を対象に福祉灯油助成事業を実施したところではありますが、ここ数ヶ月の新聞報道等にもありますように、灯油の需要期を前に価格が急激に高騰しております。

こうしたことから、今年は緊急措置対策を拡大し、70歳以上の単身世帯及び夫婦等二世帯に対する福祉灯油助成事業を実施するため、本議会に追加議案として補正予算の計上を予定しております。

★ 吉岡温泉感謝祭り及び改修工事について

第2回吉岡温泉感謝祭りが10月21日に開催され、584名の皆さんが来場されました。

当日は、農村生活改善グループと朝市実行委員会による野菜、魚介類の格安販売や、福島寿民謡会及び福島歌謡研究福声会による民謡やカラオケの披露などがあり、来場された皆さんには1日温泉を楽しんでいただいたところがあります。

また、温泉の年間利用者数については、10月末現在で昨年より1,933名ほど多く利用され、昨年に引き続き増加傾向にあります。

なお、吉岡温泉は平成6年のオープン以来12年余りを経過し、温泉浴室の天井部分が経年の劣化によりバスリブ内側の木部、鉄部とも腐食が進んで早急な改修を余儀なくされている状況にあることから、本議会に追加議案として補正予算の計上を予定しております。

★ 福島町健康実態調査の結果について

「福島町健康づくり推進計画」の策定にあたって、町民の健康実態などの把握を目的としたアンケートを実施しましたが、その調査結果がまとまりましたので報告いたします。

町民を対象としたアンケートの回収率は42.3%で、高校生を対象としたアンケートでは93.3%の回収率となりました。

なお、調査結果の内容については、12月広報で概要版としてお知らせするとともに、町のホームページに報告書を掲載しております。

★ 肺炎球菌ワクチンの実施状況について

肺炎球菌ワクチンの9月から10月の2ヶ月間の実施状況は、申請者が915名で対象者の48.7%に達し、病院での接種者は822名で申請者のうち89.8%が接種しており、また、対象者の43.7%がすでに接種しております。

今後とも肺炎予防対策として、町広報などを通じて町民への周知に努めてまいります。

★ すこやかロードの認定について

道民が気軽に楽しく健康づくりを支援するための「すこやかロード」に、新緑公園の遊歩道及び町道公営住宅線などのウォーキングコースが「新緑公園いきいきコース」として認定され、北海道知事及び財団

法人北海道健康づくり財団理事長から認定書及び認定看板が贈呈されました。

また、すこやかロード関連予算として、本議会にウォーキングマップ作成に係る補正予算を計上しております。

★ 福島保育所遊戯会の開催について

11月11日に福島保育所の遊戯会が福祉センターで行われ、65名の子供達、さらには家族や町民文化祭の見学者なども含め、総勢400名を超える来場者があり、子供達は歌や遊戯に練習の成果を発揮して、大きな声援を受けたところであります。

★ 前浜漁業について

今年の漁業協同組合の取扱いは、前浜のマイカ漁は不漁でしたが、ヤリイカ・タコ・ウニ・マグロ・ナマコ・養殖コンブの各漁は、昨年の水揚を上回り、漁業協同組合の水揚計画額を達成したとのことで、概ね良好な一年となったとのことであります。

★ 福島漁港の利用及び工事等について

福島漁港の5m岸壁を利用した福島町森林組合によるスギ材搬出は、10月29日に今年度の予定を終了し、鉄道運輸機構による北海道新幹線のレール搬入・運搬作業についても、12月7日に今年度の予定を無事故で終了しております。

また、今年度発注の白符漁港の防砂堤工事は11月20日に終了し、福島漁港については、現在、突堤及び波除堤嵩上げ工事が順調に進められております。

平成18年度に漁業協同組合などの関係機関の協力を得て策定した「福島地域マリンビジョン」は、計画どおり事業実施をしておりますが、このたび北海道開発局のモデル地域に指定され、去る14日に北海道開発局において認定書の交付を受けたところであります。

今後とも、漁業協同組合をはじめとする関係機関との連携協力を図り、着実な計画推進に努めてまいります。

★ 水産加工業について

今年度のスルメ生産は、消費者の中国製品敬遠による国内製品の需要増加のなか、町内水産加工業者においても順調な操業を続けておりますが、燃油の高騰などにより、大変厳しい経営環境が続いております。

福島町水産加工振興協議会によるスルメのブランド化事業については、ブランド名を「イカず海峡スルメ」として、東京で開催された北海道フェアへの参加、函館湯の川温泉オンパク事業との連携、さらには、日曜朝市や水産加工場従業員歌謡大会での宣伝、アンケート調査実施など、各方面にわたり宣伝活動等を行ってまいりましたが、今後とも、福島町水産加工振興協議会と連携してのブランド化に向けた啓発展開を図ってまいります。

★ 治山事業について

道発注の予防治山工事のうち、日向地区の法枠工及び雪崩柵の施工は11月28日に完成しており、豊浜地区の雪崩防止柵設置工事及び松浦・吉野地区の落石防止柵補修工事は11月27日に、日の出地区復旧治山工事は12月17日に発注され、工期内完成を目指して施工中とのことであります。

★ 水稻の作況状況について

水稻の作況状況は、7月の低温が影響して生育が悪く、収穫量は平年より下回っております。また、今年から福島町農業協同組合が試験栽培に取り組んでおりました古代米（黒米）についても、低温障害により120kgの収穫量しかありませんでしたが、町内を中心に黒米の販売PRを進めており、来年は栽培面積の拡大を計画しております。

★ 林業施策について

町有林造成事業につきましては、福島町森林組合に対し、下刈、除間伐、枝打ち、野鼠駆除などを委託しておりましたが、作業は12月1日にすべて完了しております。

また、椎茸栽培において、生産農家は現在7戸に減少しておりますが、年末の需要期に向けて生産増に鋭意努力しております。

★ どすこい朝市開催について

5月から毎週日曜日に開催しておりました「どすこい朝市」も10月で終了いたしました。町民の強い要望により、11月18日に「アンコール朝市」を開催するなど、今年も、新鮮な野菜と魚介類の販売が町民に大好評で推移いたしました。来年も地産地消をスローガンに益々発展することを願っているところであります。

★ 農村生活工夫展の開催について

今年で30回目を迎えた農村生活工夫展は12月5日に開催され、開催に先立って、永年ご尽力いただいた関係者に町より感謝状を贈呈しております。

工夫展では、それぞれ工夫された手づくり作品の出展やかぼちゃ団子汁の無料提供が行われたほか、黒米「夢むらさき」の試食会も催され、黒米の製粉を食材にしたお菓子や麺類のうどん・そばが、来場した町民の皆様に大変好評であったところであります。

★ 横綱記念館及び青函トンネル記念館の入館状況について

両記念館とも11月30日をもって冬季休館となりましたが、今年度の入館者は、横綱記念館において、16,540名で前年度より2,187名の減、また、青函トンネル記念館は、13,093名で、前年度より5,401名の減少という結果となったところであります。

全体的な傾向として、依然、函館市を含めた渡島西部への観光客入り込みの低迷が続いておりますが、引き続き入館者の増に向け、渡島西部並びに桧山南部地区との広域連携によるPR活動の強化に努めてまいります。

★ 第13回北海道産直フェアへの「北海道福島会」の参加について

北海道ふるさと会連合会主催による北海道産直フェアに「北海道福島会」が参加したいとの意向を受け、福島町地場産業開発研究会とともに、参加支援をしたところであります。

産直フェアは、10月6日から8日の3日間、東京都代々木公園B地区屋外広場で、参加15市町・北海道関係業者等2社で開催されましたが、期間中、約40万人の方にご来場いただき、商品の販売は計画

目標に迫る成果を上げるとともに北海道福島町をPRすることが出来ました。

「北海道福島会」の皆さまには、開催期間中、延べ30人の方々の協力を得るなど、より一層の交流が深まったことは、今後の交流や事業等にもさらなる展開を図ることができるものと考えております。

「北海道福島会」では、来年度も参加したい意向にあることから、福島町地場産業開発研究会の運営状況を勘案しながら、参加支援に向けた対応に努めてまいります。

★ 出稼ぎ者の就労先訪問について

10月25日、福島町の皆さんが働いている夕張市内の出稼ぎ先を慰問してまいりました。慰問先の佐々木建設(株)大夕張トンネル工事作業所では、福島町の方8名が元気に働いており、休憩時間を利用して福島町の近況や作業現場の状況、今後の工事進行状況などについて懇談してまいりました。

出稼ぎされている皆さんは、正月に家族とゆっくり過ごすことを楽しみにしているとのことであり、今後とも福島町民が安心して働ける環境づくりができるよう、福島町職業援護相談所と連携して事業に取り組んでまいりたいと存じます。

★ 建設事業について

丸山団地町営住宅建替事業につきましては、建築主体工事ほか4工事が11月21日にすべて完成し、11月末までに全8戸の入居が完了しております。

また、除雪ドーザの新規購入につきましては、11月26日に納入され、同日に検査を終えております。

函館土木現業所発注の道道岩部渡島福島停車場線で5月下旬発注の月崎・塩釜地区災害防除工事及び7月上旬発注の日出地区改築工事1と9月下旬発注の改築工事2については、年内完成予定との報告を受けております。

次に、急傾斜地崩壊防止事業の9月下旬に発注された福島地区の植栽工事は10月下旬に完了し、11月中旬に発注された豊浜地区は、現在、施工中であります。

福島川改修事業につきましては、函館開発建設部において吉田橋架換えに伴う予備設計及び地質調査が、現在行なわれております。

また、堆積土砂の除去工事(吉田橋周辺)と町道みどり町線の現況調査及び吉田橋架換えに伴う用地確定測量については、12月中旬に発注予定との報告を受けております。

なお、11月上旬に発注された、千軒地区町道住川線奥知内川上流の橋梁附近の砂防工事は、現在、施工中であります。

★ 水道事業について

5月下旬に発注したメーター器改良工事は、10月下旬に完成し、また、6月下旬に発注した岩部浄水場水位計及び流量計取替工事は、11月下旬に完成しております。

★ ファミリースポーツ公園及び町民プールの利用状況について

4月26日から開園したファミリースポーツ公園パークゴルフ場は、大会数が若干減少したことも影響し、11月3日までの延べ176日間で、7,474人の利用と昨年より利用者が1,477人減少しま

した。

また、町民プールは6月1日から9月30日までの102日間の開館で、昨年に比べて810人増加し、5,181人の利用状況となりました。

★ 南北海道駅伝競走大会について

第25回南北海道駅伝競走大会は、晴天に恵まれ、11月4日に全道各地から昨年に比べて2チーム多い126チームが出場し、選手及び監督等780人、役員297人が参加のなか、全町的な取組みによって事故もなく無事終了することができました。協力をいただきました町内会をはじめ関係者各位に、深く感謝を申し上げます。

★ 町民文化祭について

11月10日、11日の2日間にわたり開催された町民文化祭は、文化団体協議会加盟のサークルや高齢者学級の方々による手芸品の展示をはじめ、一般展示やバザー、食堂などが人気を集めました。

また図書室では、昨年に引き続き道立図書館の協力を得て、昭和初期から出版された幼児教育本や童話など120冊を並べた「なつかしのえほん展」を開催し、多くの人が訪れておりました。

ステージでは、小中高生による青少年の主張大会をはじめ福島保育所の遊戯発表会、小中高生の合唱・器楽演奏・吹奏楽、コーラスや各団体の舞踊、民謡、歌謡など日頃の練習の成果が発表され、夜の部の「第6回水産加工場従業員歌謡大会」では、聴衆者から熱い声援と拍手喝采が沸き起こるなど大いに賑わいを見せたところであり、2日間で雨天にもかかわらず延べ2,040名の入場者となりました。

★ 福祉センターのボイラー制御盤故障について

去る11月7日に、平成6年に設置された福祉センターの2基あるボイラー設備のうち1基が稼働不能となり、原因調査を行ったところ、落雷等により電源ラインから大きな電流が流れたことで、経年劣化していた集積回路等の破損したことが原因であるとの所見がなされました。

このため、福祉センターの運営上、ボイラー制御盤の速やかな修理が必要なことから、本議会に補正予算を計上しております。

★ 吉岡幼稚園の運営について

吉岡幼稚園のあり方につきましては、これまで保護者と閉園に向けた話し合いを続けてきたところですが、閉園の同意が得られない状況にあることから、平成20年度は園児募集を行うことといたしました。

しかしながら、教育環境の整備を進めるうえで必要不可欠な重要事項として、引き続き閉園の話し合いを保護者と進めてまいりますので、何分のご理解をお願いいたします。

★ 白符小学校の統合について

明治15年11月26日に福島小学校分教場として創立された白符小学校は、児童数の減少等に伴い、PTAや町内会を含めた学校関係者と今後のあり方についての協議を重ねた結果、平成20年4月1日より福島小学校に統合することとなり、現在、来年2月17日の閉校記念式典等に向けた準備を進めている

ところであります。

学校の閉校につきましては、福島町立学校設置条例の改正を要することから、本議会に関係条例の一部改正を提案しております。

以上で、平成19年第3回定例議会以後の行政報告を終わります。

なお、本定例議会に提案の議案は、条例の一部改正が2件、予算案が4件の計6件のご審議をお願い申し上げます。

議案の内容につきましては、後ほど担当課長等から詳しく説明させていただきますので、ご審議のうえ議決賜りますようよろしくお願い申しあげ、行政報告を終わらせていただきます。